

保健看護学科

2018年度保健看護学科 学修成果の把握(学位授与方針及び学びの姿勢) 報告書

I. 学修成果の把握 (学科の目標 学位授与の方針)

1. 各学年の分析対象数は、1年生が84名(92.32%)、2年生が69名(88.46%)、3年生が26名(31.30%)、4年生が60名(83.3%)であった。
2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均2.49以上であった。
3. 全学年を通して、高得点の項目は、コミュニケーション能力(3.69)、努力する態度(3.7)、人間理解(3.49)、協働(3.49)であった。低得点の項目は科学的・論理的思考(3.09)であった(図1)。
4. 1年生が2年生・3年生より高い項目が、「多様性」であった。これは1年次の地域包括ケア実習で地域在住の高齢者や精神障害をもつ人々など多様な人々に出会った経験によるものと考えられた。4年生が2年生・3年生より低い項目はコミュニケーション能力であった。3年生が4年生より高い項目が、創造性の1項目であった。他の項目については、学年が上がるにつれて高くなっていった。教員は、評価が低い学年や項目について、授業や実習等の中で高めていけるように努力して行くことが必要である。

5

平均

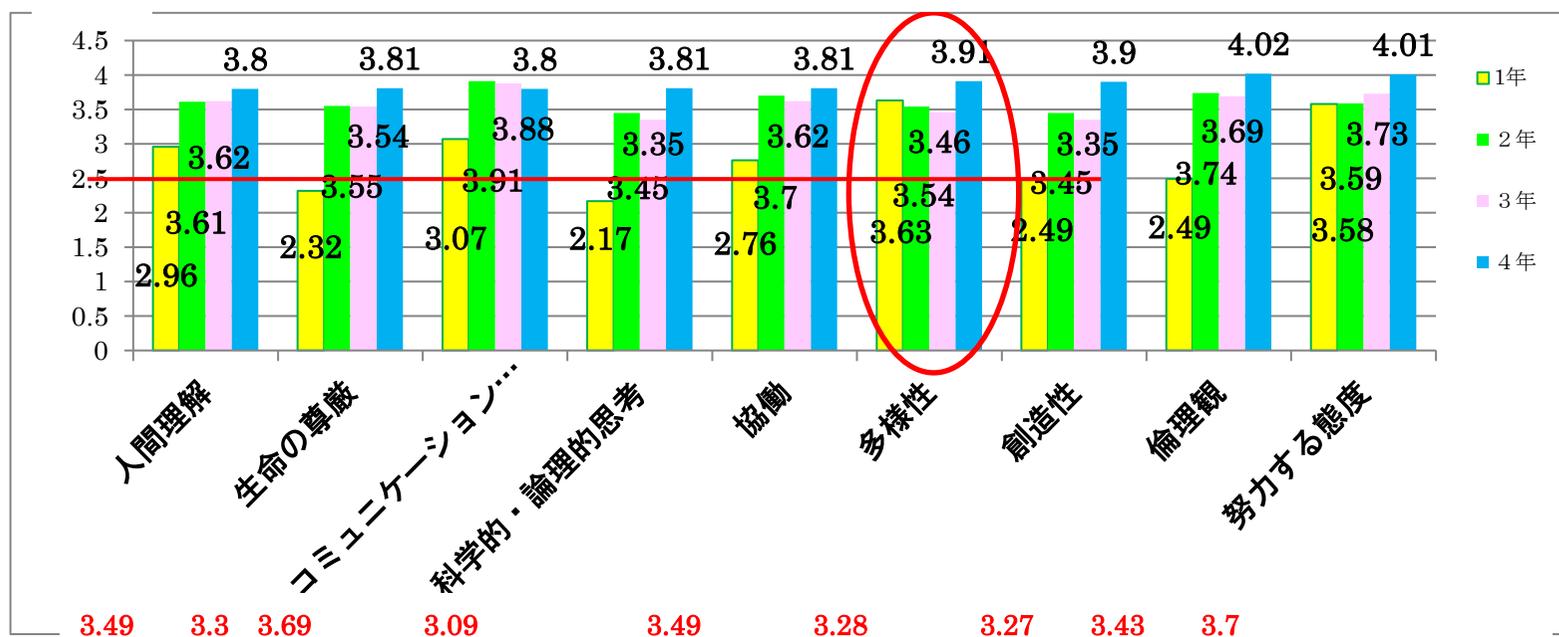
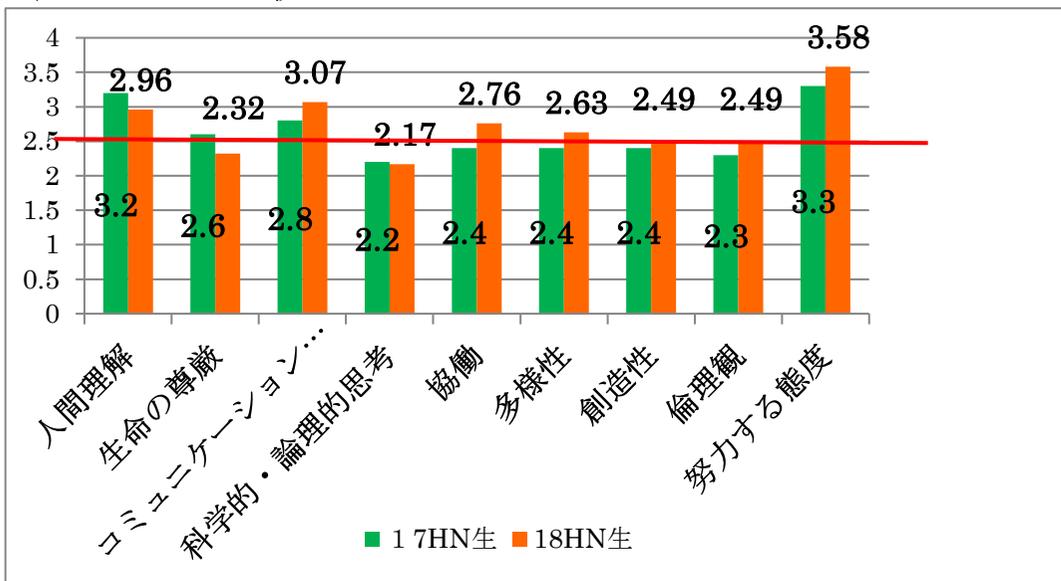


図1. 全学年学修成果の把握 (学科の目標 学位授与の方針) (2018)

II. 学年ごと学位授与方針の方針

1. 1年生 (18HN 生)

1) 17HN 生との比較

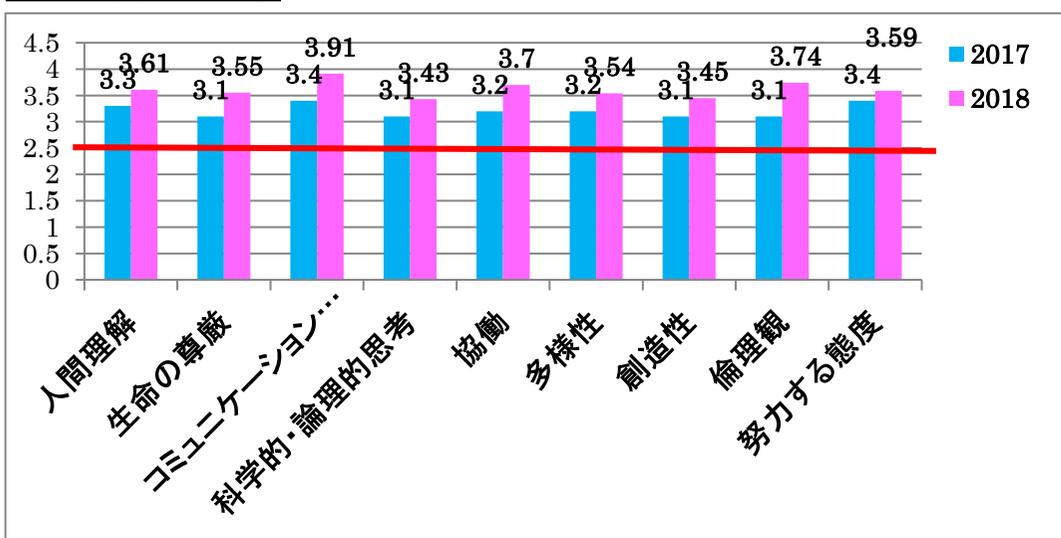


1) 2.5 以上だった項目は、「人間理解」、「コミュニケーション能力」、「協働」、「多様性」、「努力する態度」の 4 項目で、最も高かったのは「努力する態度」であった。

2) 2.5 以下の項目は、「生命の尊厳」、「科学的・論理的思考」、「創造性」、「倫理観」であり、最も低かったのは「科学的・論理的思考」であった。

2. 2年生 (17HN 生)

1) 2017 年度との比較

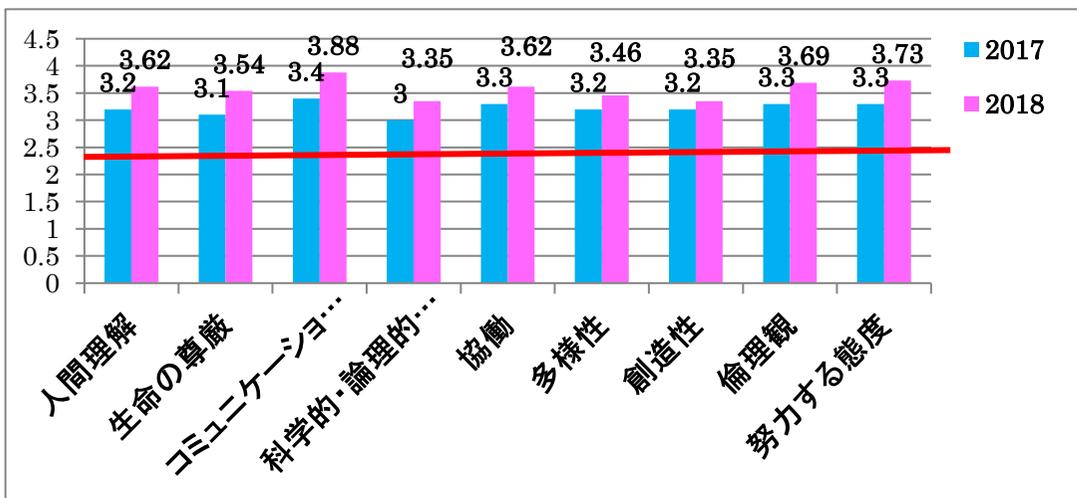


1) 全項目が 2.5 以上で、2017 年度より修得状況が全項目高得点であった。

2) 2017 年度と比較を見ると、「コミュニケーション能力」、「協働」、「倫理観」は 0.5 以上得点が高くなり、その中でも「倫理観」は 0.6 以上得点が高くなっていた。

3. 3年生 (16HN 生)

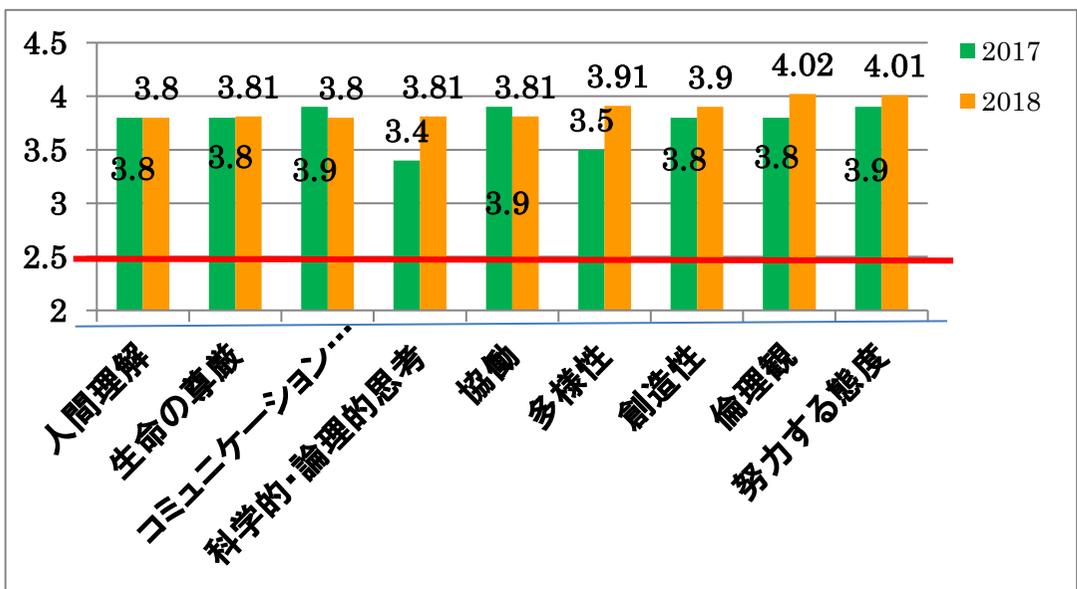
1) 2017年度との比較



- 1) 全項目が 2.5 以上で、2017 年度より修得状況が高得点であった。
- 2) 2017 年度と比較を見ると、2018 年度は全項目が高得点であった。特に、「人間理解」、「生命の尊厳」、「コミュニケーション能力」、「努力する態度」は 0.4 以上得点が高くなった。「創造性」は修得度が低い傾向が見られた。

4. 4年生 (15HN 生)

1) 2017年度との比較



- 1) 全項目が 2.5 以上であった。
- 2) 最も高得点だったのは「倫理観」であった。
- 3) 最も低得点だったのは「人間理解」「コミュニケーション能力」であった。
- 4) 2017 年度と比較を見ると、「人間理解」の変化は見られなかった。大きく向上したものは「科学的・論理的思考」、「多様性」であった。
- 5) 2017 年度より低得点であったのは「コミュニケーション能力」、「協働」であった。